

アメリカ地質調査所（United States Geological Survey; USGS）は、アメリカ合衆国内務省の傘下にある研究機関である。1879年に設立され、水文学、生物学、地質学、地理学の4つの学問分野について、合衆国領内を中心に、自然景観、天然資源、および同国を脅かし得るナチュラル・ハザード（自然現象）を対象とする調査・研究を行っており、同国の地形図および地質図の作成業務も担当している。定期的に調査レポートを公開する。

<USGS レポート>

アメリカ及び世界の加里生産量、資源量と消費量（2026）

2026年2月発表

2026年2月翻訳

一、アメリカ国内の加里生産量と消費量

2025年、アメリカ国内に生産された加里製品の総売上高は工場出荷価格で約5億5,000万ドル、2024年より13%増加したと推定される。アメリカ国内の加里生産量の大部分は、ニューメキシコ州南東部で生産されており、そこには2社が2つの地下加里鉱山と1つの地下井戸からシルビンとラングバイナイトを採掘し、浮遊選鉱、溶解、再結晶、重質分離、太陽熱蒸発などの工程を経て加里を生産している。また、ユタ州には2社が3つの生産施設を運営している。そのうちの1社は地下井戸でシルビンを溶解させ、地下鹹水として汲み上げ、太陽熱蒸発と浮遊選鉱の組み合わせ処理を行い、塩化加里（MOP）と副産物の塩化ナトリウムを生産する。この会社はもう一か所の施設で地下鹹水を太陽熱蒸発と浮遊選鉱で処理し、塩化加里を生産している。ほかの1社はグレートソルト湖からの鹹水を原料にして、太陽熱蒸発を経て硫酸加里（SOP）とその他の副産物を生産する。

加里とは採掘されたまたは製造された水溶性カリウムを含む様々のカリウム塩類の総称である。農業分野においての加里とは、塩化加里（MOP）、硫酸加里（SOP）、硫酸加里苦土（SOPM）またはラングバイナイトなどのカリウムを含む加里肥料を指す。よく使われる塩化加里（MOP）とはKCl含有量95%以上、若干の塩化ナトリウムが混ざっている肥料のことである。アメリカ国内に消費される加里は売上高の約85%が肥料向けのもので、残りが化学用途および工業用途に使用されている。国内生産された加里の60%以上が硫酸加里苦土（SOPM）と硫酸加里（SOP）で、特定の塩素感受性作物の肥料として使われている。残りは塩化加里で、農業や化学用途に使用されている。

表1. アメリカの加里生産量、輸入・輸出量、使用量などのデータ

項目	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年* ^e
国内生産量（万トン）* ¹	48	43	39	41	50
国内生産分の販売量（万トン）* ¹	49	40	40	42	46
輸入量（万トン）	648	494	562	597	560

輸出量 (万トン)	11.2	26.7	15.7	15.0	17.0
消費量 (万トン) *1,2	690	510	590	620	590
国内すべて加里製品の工場出荷平均価格 (K ₂ O 換算、ドル/トン) *3	1,120	1,790	1,250	1,150	1,200
国内塩化加里の工場出荷平均価格 (K ₂ O 換算、ドル/トン)	650	980	620	690	600
雇用数 (鉱山と選鉱) (人)	900	900	900	900	900
消費量に占める輸入の割合 (%) *4	93	92	93	94	92

加里のリサイクル：なし

輸入元 (2021～2024 年)： カナダ 79%、ロシア 12%、イスラエル 3%、その他 6%。

関税：	品目	税番	税率
	硝酸加里	2834.21.0000	無税。
	塩化加里	3104.20.0000	無税
	K ₂ O 含有量 62%以下の塩化加里	3104.20.0010	無税
	K ₂ O 含有量 62%以上の塩化加里	3104.20.0050	無税
	硫酸加里	3104.30.0000	無税
	その他の加里肥料	3104.90.0100	無税

減耗控除制度：14% (国内産と輸入品)

政府備蓄：無し

二、 特記事項

2025 年のアメリカ国内産加里の生産量、販売量と消費量がすべて前年より増加したと推定される。ただし、全体の消費量および輸入量はともに 2024 年より減少した。

肥料として使用される世界の加里消費量は、2024 年の 4,060 万トンから 2025 年の 4,160 万トンに増加されると推定される。アジアと南米は加里消費量の伸びが最も大きい地域である。世界の加里消費量は 2029 年には 4,530 万トンに増加すると予測されている。

2025 年 1 月、ミシガン州に拠点を置くある企業は、ミシガン州 Osceola 郡における新規加里鉱山の開発資金として、アメリカエネルギー省から 12.6 億ドルの条件付き融資を受けた。融資が承認されるには、1 年以内に環境、財務、法務、技術に関する一定の条件を満たす必要がある。なお、この加里新鉱山の当初年間生産能力は、加里 80 万トン、塩 100 万トンと計画されている。

世界の年間加里生産能力は2025年には6,610万トン(K₂O)で、2029年までには7,740万トン(K₂O)に増加すると予測されている。増加される生産能力の大部分は、ラオスとロシアにある塩化加里の新規鉱山および拡張プロジェクトによるものである。ベラルーシ、ブラジル、カナダ、エチオピア、モロッコ、スペインの新規塩化加里鉱山は、2029年以降に稼働が開始する予定である。

2025年11月7日、アメリカの2025年版重要鉱物リストが連邦官報(90 FR 50494)に掲載された。この2025年重要鉱物リストはまず、アメリカ地質調査所が刷新された方法論に基づき、2022年に公表された前のリスト(87 FR 10381)に銅、鉛、カリウム、レニウム、ケイ素、銀を追加した。その後、エネルギー法の規定に従い、連邦官報(90 FR 41591)に掲載されたアメリカの重要鉱物リスト案に対し、パブリックコメントと関係省庁から行った意見募集で得た意見に基づき、新リストにさらにホウ素、冶金用石炭、りん鉱石、ウランが追加された。

三、世界の加里生産量と資源量

ベラルーシ、ドイツ、ラオスの2024年生産量は、企業および業界レポートに基づき大幅に修正された。中国とロシアの加里資源量は、それぞれの政府報告書に基づいて修正された。

表2. 世界の加里生産量と資源量(万トン)

国名	生産量		資源量	
	2024年	2025年 ^{*e}	商業採掘可能量	K ₂ O換算量
アメリカ	41	50	97,000	22,000
ベラルーシ ^{*e}	500 ^{*e}	600	330,000	75,000
ブラジル	33.1	30	1,000	230
カナダ	1,440	1,500	450,000	110,000
チリ	56.4	60	NA	10,000
中国 ^{*e}	630 ^{*e}	630	NA	20,000
ドイツ ^{*e}	250	300	NA	15,000
イスラエル	226	200	NA	多い ^{*6}
ヨルダン	173	180	NA	多い ^{*6}
ラオス ^{*e}	240	240	NA	100,000
ロシア ^{*e}	1,000	1,000	NA	200,000
スペイン	48.9	45	NA	10,000
その他の国	35	35	150,000	30,000
世界合計	4,670	4,900	>1,000,000	>590,000

NA：データ無し

世界の資源量⁵： アメリカの加里資源量は約 70 億トンと推定される。そのほとんどはカナダのマニトバ州とサスカчевン州に跨る Williston 盆地の地下鉍脈の延長で、モンタナ州とノースダコタ州の 3,110 平方キロメートル地域の地下 1,800~3,100 メートルの深さに埋蔵されている。ほかに、ユタ州の Paradox 盆地の地下 1,200m の深さに約 20 億トン、アリゾナ州 Holbrook 盆地には 7~25 億トン、ミシガン州中部の地下 2,100m の深さに 7,500 万トン以上の大規模な加里資源が存在している。また、世界の加里資源量は約 2,500 億トンと推定されている。

代替品： 加里は植物の必須養分として、また動物やヒトにとっても不可欠な栄養要素として、その代用品が存在しない。堆肥と海緑石 (Glauconite) は加里含有量の低い供給源として畑への短距離輸送の場合のみ、加里肥料としての価値がある。Glauconite は有機農業の加里源として使用することができる。

注釈

e： 推定値。NA はデータなし。

*1： 会社独自のデータの開示を避けるために、有効数字 2 桁以内で四捨五入された数値。

*2： 消費量 = 国内産の販売量 + 輸入量 - 輸出量

*3： 塩化加里、硫酸加里、硫酸苦土加里の平均値である。その他の加里を含む化合物は計算に入れていない。

*4： 消費量に占める輸入の割合 = (輸入量 - 輸出量) として定義されている。

*5： 資料およびデータの出所は、付録 C を参照してください。

*6： イスラエルとヨルダンには死海に含まれている約 20 億トンの塩化加里を平等で保有する。

米国地質調査所、鉍物商品の概要、2026 年 2 月